



▲取材に協力していただいた佐藤さん

# OB インタビュー

東京理科大学大学院  
総合化学研究科総合化学専攻 出身

花王株式会社 ケミカル事業部 営業担当 **佐藤 敬**

**Q** なぜ就職するのではなく大学院に行くかと思ったのですか。  
**A** 正直に言うと大学院に行くこと以外は考えていませんでした。ものづくりに携わっていきたくて、大学院に行くとしたら高卒生の頃からあり、大学1年生の時からメーカー志望でした。素材をつくるメーカーに入るなら大学院に進学した方が入りやすいし、研究の幅も広がるので、就職するという考えはありませんでした。あと、理系で研究をしっかりとやらねえと実力がつかないと感じ、実際に研究してみたいと思ったからです。

**Q** 学部生の時に就職活動はしなかったのですか。  
**A** 大学院進学を決めたので就職活動はしなかったです。ただ、大学院で就職活動すると研究があるから時間がなかなか取れないので、一番時間のある3年生の時にしっかり就職活動をするのは良い経験で、そこで失敗して大学院に進学したとしてもその経験は強みになるので良いと思います。そのような人こそ研究にとらわれず広告代理店業者に行く人もいますし、マスコミや銀行、公務員を受け人もいます。

**Q** エントリーシート(以下、ES)を書く時のコツはありますか。  
**A** 自分の経験を体験記として書くことですね。そして面接の自己PRの時にこの体験があったからこの強みがあるという具体的に話せるので。例えば、僕は先輩は自転車で日本全国を周った体験を通して、自分の忍耐力をアピールしていました。その方が私の強みは我慢強いところですか、くじけないところですか、

**Q** ESを書くときに気をつけたことは何ですか。  
**A** 筋道を立てて結論から書くように心掛けていました。まず、やりたいことをバシッと書いてしまおう。そこから話に一貫性を持たせて書いていましたね。いろいろ項目がある中で、矛盾が生じないように注意しながら書いていきました。熱が入ると書きたいことをたくさん書いてしまおうので、すらすらと書くときほど矛盾を見落とさず、最初が怖いですが、最初は熱が入りがちになるから気をつけてほしいです。あと、つまらないESにはならないようにしてほしいですね。院生でも学部時代のことを書くのが、ESはだいたい強みを書くことが多いです。僕も研究のことよりサークルやアルバイトで活かした経験を書きました。僕が働いていた喫茶店のマナーがすごく厳しくて、社会に出た時にこの経験が活きるなと思って続けてきたので、そのことを書きました。

**Q** 就職活動する時のポイントは何ですか。  
**A** 就職活動は単独ではなくグループでやることですね。1人でやると頭が煮詰まるし、自分の欠点が見えないので。あと、グループだと情報がたくさん集まりますしね。就職活動では前向きで積極的な人ほど説明会でも色々な人に話しかけるし、消極的な人は全くしないので時間に追われていの中で孤立して台無しにする人が多いので。

**Q** 面接で注意、気をつけたことは何ですか。  
**A** グループ面接で全部自己アピールになってしまつて、会話になっていない人がいたのでそうならないように意識しましたね。必死な気持ちで前に出すぎてアピールばかりして、言葉のキャッチボールができていない人はだいたい失敗しますね。面接官はどういう人かを知りたいから日常会話の感覚で話すと良いですね。そうすると自分の言いたいことがスムーズに言えるし、楽しくなつてきて時間があつたという間に過ぎていきます。

**Q** 面接はいつ頃からしたらいいですか。  
**A** 11~12月がいいですね。先の質問で答えたように、OB訪問ではESの添削をするので、まず下調べをしてから訪問をした方がいいのでそのぐらいの時期になりますね。あまり早く行き過ぎると、HPに載っていることを聞いたりしてしまうので、情報公開がされてから準備をして行くといいですね。

**Q** 大学の就職説明会のメリットは何ですか。  
**A** 大学の就職説明会は企業がだいたい1~2人のOBを連れて来てくれるので、OBに必ず会えるのがメリットですね。会社の説明会の方に出向くと理

**Q** 大学の就職説明会のメリットは何ですか。  
**A** 大学の就職説明会は企業がだいたい1~2人のOBを連れて来てくれるので、OBに必ず会えるのがメリットですね。会社の説明会の方に出向くと理

**Q** これから就職活動をする本学生にアドバイスをお願いします。  
**A** 失敗が続くと鬱になる人もいますので楽しんでやることです。あとは失敗した時に励ましてくれる友達や仲間を大切にすることでですね。ただ自分の進路を決める機会と考えるのではなく、社会に認められる良い機会だと思つてやってみてほしいですね。とにかく広い視野を持つて楽しむことが大事だと思います。

**Q** 学部生と大学院生の就職活動の違いは何ですか。  
**A** 院生は帰る場所があり、空いた時間に研究室に戻つてその次まで待機できる場所です。その時に研究室の先輩に質問できるし、失敗した時も1人にならないで励ましてくれる仲間がいるのが1番の強みだと思います。ただ就職活動に費やす時間がないですね。

**Q** 志望している企業の対策はどうしましたか。  
**A** 研究室のOBでその企業に勤めている人がいたので、その人にESの添削をしてもらいました。あとはどういう人を採用するのか、どのような面接をするのかなどを調べました。その企業に勤めている人のOB訪問もしましたね。OB訪問ではESを持って行って添削してもらった方がいいですね。

**Q** 企業はどういう人を採用すると思いますか。  
**A** 学生時代にひとつのことに打ち込んできた人はしっかりしていると思われるので、そういう人が採用されやすいと思います。自己PRの時はそのことを書くといいですね。その方が自分もすらすら書けるし、そこから自分の強みがにじみ出てくるので。

**Q** 大学院生だと研究に時間を取られて就職活動の時間がないと思われがちですが、どうしていいのですか。  
**A** 朝の早い時間に企業の説明会に行くようにしていましたね。朝研究をしてその後に説明会だと、研究は別に行かなくてもいいやと思つて起きられないのですよ。だから、朝早くから起きないといけない状況を作つて1日を有効活用していました。

**Q** これから就職活動をする本学生にアドバイスをお願いします。  
**A** 失敗が続くと鬱になる人もいますので楽しんでやることです。あとは失敗した時に励ましてくれる友達や仲間を大切にすることでですね。ただ自分の進路を決める機会と考えるのではなく、社会に認められる良い機会だと思つてやってみてほしいですね。とにかく広い視野を持つて楽しむことが大事だと思います。

東京理科大学  
3年生、修士1年生のみなさん!

会員登録は  
お済みですか?

リクナビ 2015  
インターンシップ & キャリア

6月1日サイトオープン! 会員登録スタート!

就活準備のためのお役立ちコンテンツが満載!

リクナビ2015 検索  
<http://job.rikunabi.com/2015/>

